

事務所 〒690-0874 松江市中原町167-1-3F TEL 21-6143 FAX 31-8985  
HP: <http://www.matsue-rotary.jp> E-mail: [office@matsue-rotary.jp](mailto:office@matsue-rotary.jp)

## 第3195回例会(平成30年2月21日・水)

### 今週のプログラム

2月21日(水) ゲストスピーチ

「日本酒の現状と展望」

李白酒造(株) 代表取締役社長 田中裕一郎氏  
たなかゆういちろう

### 次週のプログラム

2月28日(水) ゲストスピーチ

「堀尾吉晴にとっての本能寺の変」

松江歴史館 学芸係 主幹 学芸員 西島太郎氏  
にしじま たろう



本日のエレクトーン 系川恵美子 さん

### 2018年(平成30年)2月～3月の予定

- 2月25日(日) 家族交流 宍道湖の幸を食べる会  
場 所：福田正明会員自宅事務所  
時 間：17時30分より  
(17時32分電車到着後)
- 3月7日(水) 定例理事会  
3月21日(水) 春分の日のため例会なし

### 例会変更のお知らせ

月 日	クラブ名	受付場所
2月26日(月)	米子南	ANAクラウンプラザホテル米子
3月8日(木)	平田	ホテルほり江
3月13日(火)	出雲	ホテル武志山荘
3月22日(木)	米子中央	ANAクラウンプラザホテル米子
3月22日(木)	松江東	ホテル一畑
3月28日(水)	米子東	ANAクラウンプラザホテル米子
3月29日(木)	平田	ホテルほり江

## 第3194回例会記録

平成30年2月14日(水・晴れ)

会員数 68名  
出席者数 45名  
欠席者数 23名  
出席率 73.77%(出席免除会員含む)  
前々回補正 91.53%(出席免除会員含む)

ビジター なし

メーキャップ 内田、中島、舟越(松江南)、今井、永通、古瀬(松江東)、大山、小林淳、錦織、波多野、藤本(松江しんじ湖)、後藤(家族交流会)

## 会務報告

伊原会長

ゲストスピーカー紹介

国立高等専門学校機構 松江工業高等専門学校  
校長 平山けい様  
ひらやま

ガバナー事務所より2020-21年度地区ガバナーとして岡山西ロータリークラブ菊池捷男氏を正式決定した旨の宣言書が参りましたのでお知らせします。

事業所：弁護士法人菊池綜合法律事務所  
代表弁護士・所長  
職業分類：民事弁護士  
生年月日：1943年10月23日

森岡幹事

ロータリーの友2月号配付。  
2月18日(日)大田クラブのホストにより「あすてらす」においてIM開催。  
全員登録に感謝申し上げます。ありがとうございました。  
松江4クラブ貸切バスのため時間厳守でお出かけください。  
昼食は準備しておりません。(各自で対応)

## 委員会報告

クラブ管理運営 親睦・出席委員会 青木会員  
出席報告  
広報委員会 小林祥泰委員長  
ロータリーの友2月号のご案内  
乾会員より不昧公書籍紹介

## スピーチ

「脳とこころのコミュニケーション」

国立高等専門学校機構 松江工業高等専門学校  
校長 平山けい氏  
ひらやま



## ニコニコ箱

35,000 円

伊原、永通（松江高専 平山校長先生をお迎えして。）  
川上、佐藤尚、妹尾、谷口博、福田、矢野、森岡（平山先生のスピーチに期待して。）

大山、藤井（結婚月）  
服部、細田、川内、谷口正、乾、矢野（誕生月）  
細田（入会月）  
ベストメッセージ賞：該当なし  
司会 原田会場監督

ひとこと  
随想

## 島根大学の 新学部―人間科学部の設置―



はっ どり やす なお  
服 部 泰 直

「ひとこと随想」への寄稿の機会をいただき、ありがとうございます。今年度の4月に島根大学に新たに「人間科学部」が設置されました。人間科学部の概要を紹介させていただきます。

島根大学における新たな学部の設置は、文理学部の改組により法文学部と理学部が設置された以降39年ぶりとなります。（この間、平成7年に理学部を総合理工学部に、農学部を生物資源科学部に改組、また、平成15年に島根医科大学との統合による医学部の設置はありましたが。）人間科学部は、「こころを知る、からだを知る、人をささえる」をキャッチフレーズに、人間に焦点を当て人間を心身両面から科学することで地域社会に貢献することを目的として入学定員80名を持って設置されました。人間科学部は、人の心や行動の仕組みや働きについて臨床心理・実験心理の知見から学び、人間へ多様なアプローチをする「心理学コース」、社会福祉学の理論や技術を学び、人を支えるという観点から社会の諸問題について考え実践する力を養う「福祉社会コース」、身体活動等を通じて、健康を科学的に学び、地域住民とともに健康課題の解決を進める力を養う「身体

活動・健康科学コース」の3つのコースから成ります。人間の特性を深く理解し、人々がそのらしく生きることができる社会を実現する人材を育て、卒業生が県内各地に根付き、地域の方々と共に地域コミュニティを支えることにより、地域が活性化されることを願っています。

昨年度実施された入試において、後期日程入試では志願倍率が86倍を超すなど、人間科学部に対する受験生の関心の高さを示す結果となりました。このような厳しい入試を乗り越えて入学してきた学生は、今、地域の現場で学び、科学的視点を身に着け、理論と実践を往還させる力を身に着ける教育システムの下、自身の学びを始めています。

島根大学では、来年度の4月には総合理工学部と生物資源科学部の改組、大学院自然科学研究科博士前期課程、数理・データサイエンス教育研究センター、地域未来協創本部の設置等、社会のニーズに対応すべく更なる改革を進めています。人間科学部を初め島根大学における教育・研究にご理解いただき、ご協力、ご支援を賜れば幸いです。今後も、よろしくお願い致します。（大学）

## 2017-18年度 第3・第4・第5グループ合同Intercity Meeting



2月18日（日）

IM会場：あすてらす

懇親会場：サンレディー大田

ホスト：大田RC

